

## 長年培ってきた独自の染色加工技術による 国内外への高付加価値商品・技術の提供

同社はポリエステルと綿、レーヨン、ポリウレタンといった化学繊維や天然繊維の複合繊維編物の染色加工を得意としており、官公庁向け制服から医療用途、高級ブランド服からカジュアルウェアまで幅広く採用されている。撥水や消臭等の機能性加工55ブランド、風合いや視覚性等の感性加工39ブランドを有しており、顧客ニーズに合わせた高付加価値な提案を行っている。マイクロファイバーを使った人工皮革は、衣料用途だけではなく、工業製品の重要パーツや機能資材としても高い評価を得ている。

所在地 岐阜県瑞穂市牛牧758  
電話/FAX 058-326-8123 / 058-326-8517  
URL <http://www.gisen.co.jp/>  
代表者 代表取締役社長 後藤 勝則

設立 1943年  
資本金 10,000万円  
従業員数 243人



### 中東民族衣装の男性用トープの開発・拡販

同社はファッション衣料、ユニフォーム関係を主力としている。ファッション関係は国内外で評価を受け、商社を通じて販売している。一方で、中東向け男性用トープも長年手がけており、ポリエステル短繊維織物を麻ライク、綿ライク、シルクライク、ウールライクに仕上げて輸出している。サウジアラビア、UAE等では、メイドインジャパンの高付加価値商品として人気を博している。現在はコロナ禍ということもあり、従来の風合い開発とともに、抗ウイルス加工商品を提案し市場開拓を進めている。



中東向け男性用トープ

### 木材の脱色・染色加工、流動成形技術の開発

岐阜県は本州で2番目の森林面積を持っている。木材も地域資源のひとつである。同社では、綿に代表されるセルロース繊維の加工技術を応用して、木材(突板)の脱色・染色技術を開発した。車両内装の表面材や玩具の部材に採用されており、木材の質感を活かした着色が好評である。さらには、産業技術総合研究所との共同研究によって、木材を任意の形状に成形可能な木質流動成形技術の開発を進めており、地域資源のさらなる活用を目指している。



木材の染色と流動成形技術

### アラミド繊維の加工技術による防災・防護服の開発

同社は、耐熱性・難燃性に優れるメタ系のアラミド繊維を染色する特許技術を持っている。これにより、消防服や災害活動服等の付加価値を高めるために使用されるアラミド繊維の、染色加工を行っている。より需要を拡大するために、染色事業とは異なるステープル(短繊維化)事業へ参入した。このことで、アラミド繊維のサプライチェーンを強く担うことになる。染色加工の拡販、最終製品である高機能ユニフォームの拡販に繋げる。



アラミド繊維を用いた消防服